

遠
 1228



門心通 13
號 1228
卷

京鹿子扱其後從夫道成寺

式亭三馬序

誌

余所人編亭三笑牌說一編と著述を杯石とや佐用媛が一念
松浦湧小止所むりくんと鳴泉湯鐘と夏琉球芋が笛坂
吹てより爾東石れ婦子化とるのまご終記の月念や
石不深くも華人の肩借る石を擲る羊となとる神僊の身術石
の言ふ話々々石く覺く書々々けあふり文の長らふとを以ら
やれとをねいもて全交漲れ三馬が口調是く始道成寺
真言秘密小とらるる新版急ぎの板元がせめくもくく祈
の段ちふまうとさまんごまもくくでとんとあせらるる香也
ごとく回智坊主れ役とる序の書傑と初役とお引合せの
承足看官今茲の新作大表割まひくくくく



これよりこのわんの子はまう
 こそひりくもあつらひいよ
 まあどの無司と
 ひろひあつたんで
 あまうとつふぬ
 うらうのありなるか
 はかまをせせむい
 のかまをせせむい
 九尺二尺のちまひの
 こまればうらうちまひ
 まいころうたうちまひ
 こまればうらうちまひ
 まいころうたうちまひ
 日と押りたるあまうと
 九月つたあまうと
 まいころうちまひの
 たのちまひのあまうと
 あまうとこのあまうと
 いそぎあつたあまうと
 こまればうらうちまひ
 かまをせせむい
 のちまひのあまうと
 のちまひのあまうと
 まいころうちまひの
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと



いそぎあつたあまうと
 こまればうらうちまひ
 かまをせせむい
 のちまひのあまうと
 のちまひのあまうと
 まいころうちまひの
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと

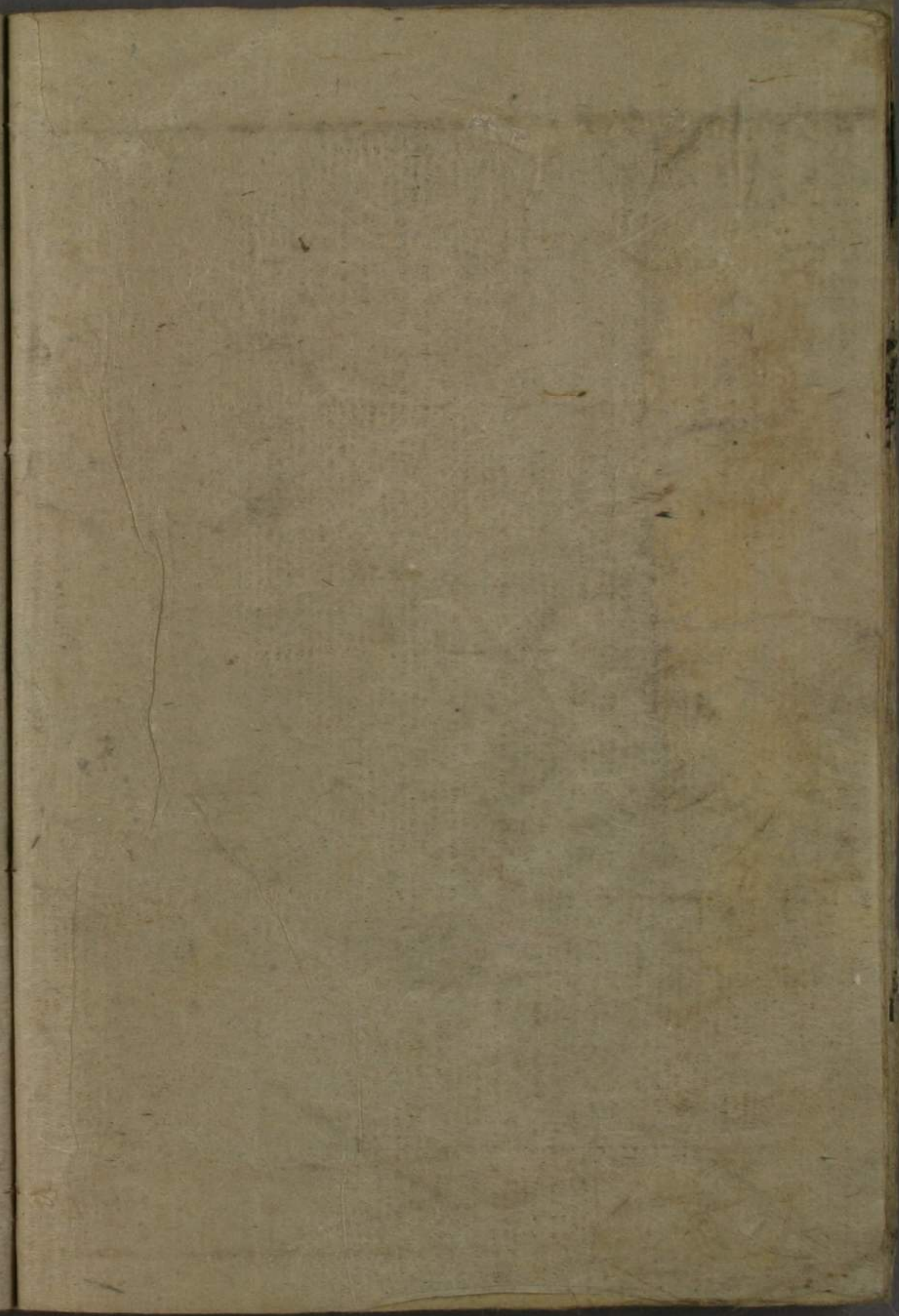
まうとひりくもあつらひいよ
 まあどの無司と
 ひろひあつたんで
 あまうとつふぬ
 うらうのありなるか
 はかまをせせむい
 のかまをせせむい
 九尺二尺のちまひの
 こまればうらうちまひ
 まいころうたうちまひ
 こまればうらうちまひ
 まいころうたうちまひ
 日と押りたるあまうと
 九月つたあまうと
 まいころうちまひの
 たのちまひのあまうと
 あまうとこのあまうと
 いそぎあつたあまうと
 こまればうらうちまひ
 かまをせせむい
 のちまひのあまうと
 のちまひのあまうと
 まいころうちまひの
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと



秋名
 早稲
 石のほ
 水のは
 とこま
 こま
 こま

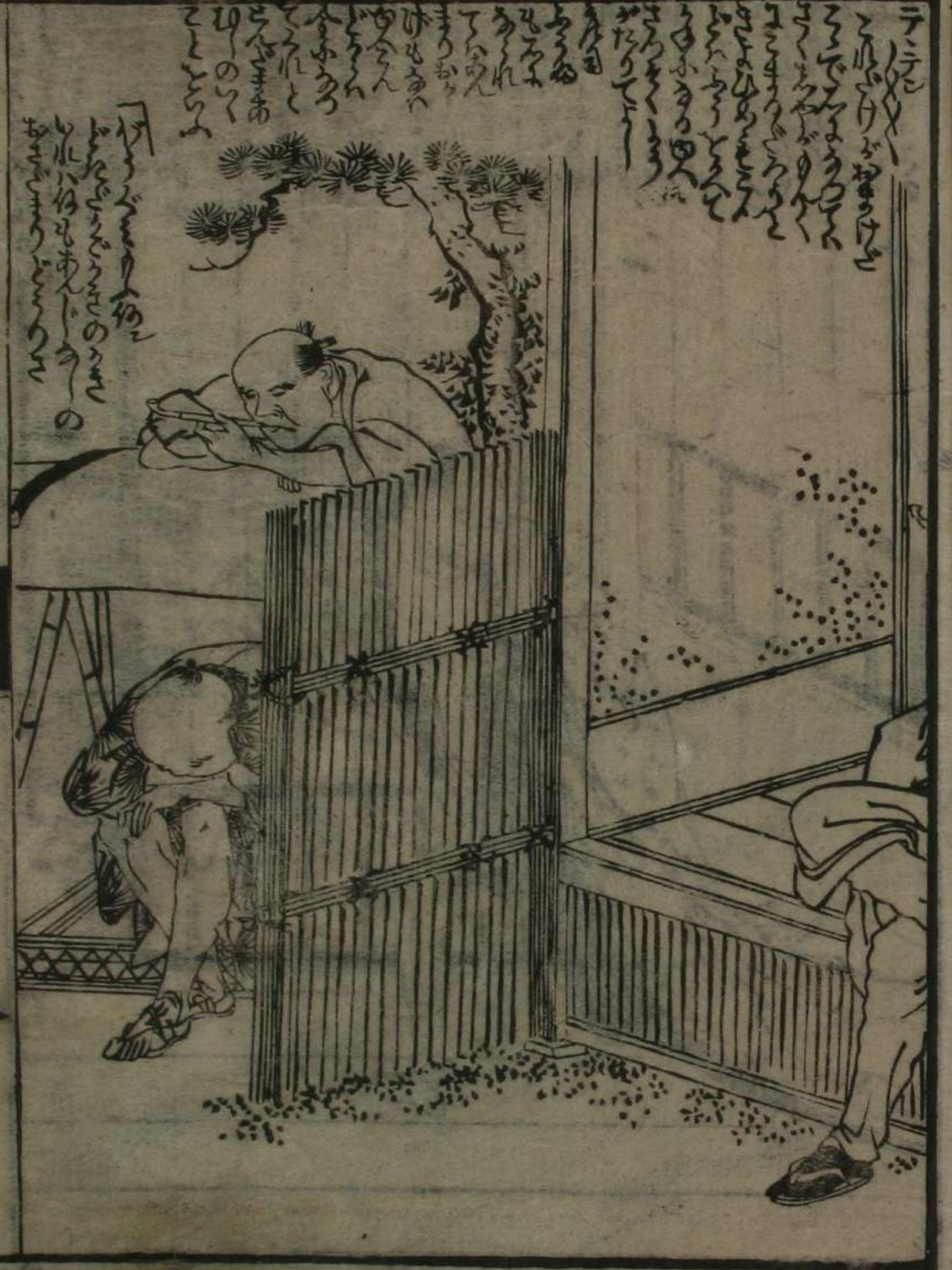
いそぎあつたあまうと
 こまればうらうちまひ
 かまをせせむい
 のちまひのあまうと
 のちまひのあまうと
 まいころうちまひの
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと
 あまうとこのあまうと







さてこの
のちのち
れりして
やまひの
くつさる
をいかに
ひやうと
あつきの
むらも
きまひ
さうさ
いふり
たのま
あつて
まれど
のち
やんれ
おや
代ふ
あつて
ける
さう
さう
ゆふ
てか
いふ
のち



テニ
このち
さう
さう
ゆふ
てか
いふ
のち
さう
さう
ゆふ
てか
いふ
のち
さう
さう
ゆふ
てか
いふ
のち

あつて

下



辛酉孟春發行三笑戲編
西宮版

清原氏
宗茂
後醍醐天皇
御成吉思

+

~13
1228

かしこくもくろく女を海におぼせり
 ちりちりもくろく女を海におぼせり
 さたけいしやまきまきつげ
 さりりくさりくさりやまきま
 まさりくさりくさりやまきま
 ひるてちりちりくさりくさり
 西代の世たきくさりくさり
 むつてくさりくさりくさり
 まつりのちりちり
 茶とくさりくさり
 ひのんともま
 りつまきま
 てくさりくさり
 たらまきま
 ちりちり
 せんせの
 こい
 ちり
 いれる
 今の世の
 石のま
 けのま
 このま
 ようま
 ちりま
 のま



日れ公でありまの
 人まかろうまど

かしこくもくろく女を海におぼせり
 ちりちりもくろく女を海におぼせり
 さたけいしやまきまきつげ
 さりりくさりくさりやまきま
 まさりくさりくさりやまきま
 ひるてちりちりくさりくさり
 西代の世たきくさりくさり
 むつてくさりくさりくさり
 まつりのちりちり
 茶とくさりくさり
 ひのんともま
 りつまきま
 てくさりくさり
 たらまきま
 ちりちり
 せんせの
 こい
 ちり
 いれる
 今の世の
 石のま
 けのま
 このま
 ようま
 ちりま
 のま



かしこくもくろく女を海におぼせり
 ちりちりもくろく女を海におぼせり
 さたけいしやまきまきつげ
 さりりくさりくさりやまきま
 まさりくさりくさりやまきま
 ひるてちりちりくさりくさり
 西代の世たきくさりくさり
 むつてくさりくさりくさり
 まつりのちりちり
 茶とくさりくさり
 ひのんともま
 りつまきま
 てくさりくさり
 たらまきま
 ちりちり
 せんせの
 こい
 ちり
 いれる
 今の世の
 石のま
 けのま
 このま
 ようま
 ちりま
 のま

日れ公でありまの
 人まかろうまど

